



平成20年3月18日

各 位

会社名 丸 文 株 式 会 社  
 代表者名 代表取締役社長 佐 藤 敬 司  
 (コード番号 7537 東証第一部)  
 問合せ先 常務取締役 岩 元 一 明  
 (TEL 03-3639-3010)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年11月14日に公表した通期業績予想を下記のとおり修正します。

## 記

## 1. 平成20年3月期通期業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(1) 連結 (単位: 百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	260,000	5,300	4,800	2,500
今回修正予想(B)	244,000	3,250	2,850	700
増減額(B - A)	16,000	2,050	1,950	1,800
増減率	6.2	38.7	40.6	72.0
前期(平成19年3月期)実績	275,661	6,498	6,280	3,483

(2) 個別 (単位: 百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	172,100	2,840	2,820	1,750
今回修正予想(B)	163,000	830	900	60
増減額(B - A)	9,100	2,010	1,920	1,690
増減率	5.3	70.8	68.1	96.6
前期(平成19年3月期)実績	203,501	4,234	4,116	2,208

## 2. 修正の理由

## (1) 連結業績予想の修正理由

売上高につきましては、デバイス事業において通信機器や産業機器、民生機器向けなどの半導体が低調に推移し、システム事業においても試験計測機器が当初の予想を下回る見通しであることから、前回予想を下回る見込みとなりました。

利益面につきましては、売上の減少要因13億円に加え、売上原価に計上している低価法による在庫評価損が急激な円高進行に伴い10億円増加し、また特別損失として在庫評価引当金繰入額5億円、投資有価証券評価損2億円を計上する見込みとなったため、上記のとおり修正いたします。

在庫評価引当金は、平成20年4月から適用される「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号、平成18年7月5日 企業会計基準委員会)を早期適用し、たな卸資産の期末の評価基準として従来から採用している低価法に加え、保有期間に応じて簿価を切り下げる方法を新たに導入する結果、発生するものです。

## (2) 個別業績予想の修正理由

売上高につきましては、海外子会社向けの販売は好調だったものの、国内顧客向けが低調に推移しているため、前回予想を下回る見込みになりました。

利益面につきましては、上記連結業績予想の修正と同じ理由であります。

なお、今回の業績予想数値は、1ドル=100円を前提条件としております。

## (注)

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断し作成したものです。実際の業績は様々な要因により異なる結果となり得ることをご承知おきください。

以上